

ほっこりクラブ

連絡先：住所 〒791-0941 松山市和泉南1丁目5-19
事務局長 源元 文代・TEL・FAX：089-957-6587

事業名 よく学び・よく遊び、心豊かな老人力アップ

＜目的＞ 高齢化が進むなか、地域での交流と仲間作りの要望に応じて、日常生活で高齢者が、隣近所の核となり、地域のきずなとしての役割を果たしていくための体験イベントを実施し、活性化を図る。

＜事業内容＞

1. 松山市石井公民館和泉南分館を会場に、高齢社会に対応する生き方を、仲間と体験するイベントを13回（延参加者191人）開催した。
 - ・高齢者の自己責任として「仲間をもつ」「趣味をもつ」「頭をつかう」「筋力をつける」「動く」「食べ過ぎない」の6単位履修を目的とし、お付き合いを深める活動の原点を体験した。
2. 参加者同志が、同じ時間を一緒に過ごすだけでなく、ボランティアとして、協働しながら交流ができる福祉施設への訪問活動を2回実施した。
 - ・クリスマス飾りのペイント、年の瀬餅つきと、得意分野で実力を発揮できた。
 - ・そこで働く人々や入所者の方々との継続したコミュニケーション・チャンネルができた。
 - ・少しだけ地域のつながりを体験した。
3. オリジナル「遊具」を手作り・貸出しもしている（無料）
参加者の発案で、手軽に楽しめる「遊具」を手作りして、訪問活動に活用することとした。
 - ・ジャンボお手玉（ほっこりボール）2セット
通常のお手玉（重さ40グラム）の3倍（重さ120グラム）のジャンボサイズ
高齢者や幼児のレクリエーションスポーツ用具として多様な遊びに応用できるすぐれもの。
 - ・フィンランド生まれの遊具（モルック）
桧木や杉の間伐材（内子小田産）を加工したオリジナル規格の遊具（屋外用）2セット
屋内用は、ダンボール丸芯を利用して製作。1セット

＜市民の参画や他団体との連携＞

1. 松山市、関係NPO法人に講師派遣などご協力をお願いした。
2. 協働ボランティアができる福祉施設のご理解を得て、継続的關係維持を依頼した。
3. 地域でお年寄りや障害者の支援活動をしている町内会、民生委員の方々に参加協力を得た。

＜市民に対するPR＞

1. 市民活動推進事業として、公民館などの公的機関でのチラシ配布。
2. 高齢者サロン等運営されている民生委員の方々に個別周知。
3. イベント開催時の参加者を媒体としてチラシ配布による周知案内。



よく学び
元気になる話あれこれ



よく遊び
うどんつくり足踏みダンス



手作り「遊具」の作り方・遊び方教えます

<活動の様子>



事業名 **発達障害児・者支援事業**

<目的>

知的障害を伴わない発達障害（高機能自閉症、アスペルガー症候群、ADHD、LD）の本人と家族は孤立傾向にあるため、まず本人同士、養育者（親）同士が出会い、地域の拠点を作ることが必要でした。本人が悩みを共有・解決できる環境を整えるなど本人活動の充実を図ることが目的です。

<事業内容>

- ・講演会の開催
西条中央病院の大藤佳子先生をお迎えし、講演会を開催しました。
- ・保護者勉強会
保護者会の際に、教育・就労等の各分野の専門家を招いて勉強会を開催いたしました。
- ・ペアレントトレーニング
子どもの状態を受け入れ、障害受容を推進するために、専門家を招いてペアレントトレーニングを開催いたしました。
- ・ソーシャルスキルトレーニングとしてのイルカ介在療法
香川県さぬき市のドルフィンセンターにおいて、アニマルセラピーとしてのイルカ介在療法を実施しました。

<市民の参画や他団体との連携>

ペアレントトレーニングやソーシャルスキルトレーニングでは、市民ボランティアを巻き込んだ形で開催しました。また、講演会、勉強会を公開して開催し、広く一般市民に参加していただくことができました。

<市民に対するPR>

「みんなちがって、みんないい!!」をキャッチフレーズに頑張っています。

<活動の様子>



事業名 「遊具の安全教室」 事業

<目的>

当NPO会員には、造園や遊具の業者をはじめ、公園管理士が在籍している関係もあり、愛媛県より道後公園の指定管理者として管理運営業務を委託され（コンソーシアムの代表として）、公園の遊具や緑の保全管理業務を行っています。以前よりボランティアで公園や保育園、幼稚園などの「遊具の安全教室」をおこなっていました。しかし、安全教室実施の要望があるにもかかわらず、ボランティアであるためにその回数を増やすことが出来ませんでした。公園の遊具での事故がまた少しずつ増える傾向にある昨今、安全教室の機会をできるだけ多く作り、それぞれの公園管理者だけでなく親子、先生と生徒、大人も子供も大勢の人が「安全な遊具の知識、安全な遊具での遊び方」を知ることによって、子供たちが元気に安全に遊べる公園となることに役立てれば良いと考えて今回の事業を計画いたしました。

<事業内容>

遊具施設の正しい使い方講座および、保守・点検講座ともに、該当する施設でテキストや解説パネルを用いての講義をおこないました。遊具には必ず危険が付き物であること、すなわちリスクを伴っていることを理解してもらい、そのうえでいかにその危険を回避するかを専門的に講義し、遊具についての法律や遊具の構造などもレクチャーしました。その後、実際に遊具に触れながら、測定器具や簡単な道具などを使って「遊具が危険な状態になっていないかどうか」を検査する実技的指導をおこないました。

それぞれの施設ごとに応じて、管理点検マニュアルを作成し（添付資料参照）各施設に配布しその後の遊具の安全管理に役立てていただいております。



<市民の参画や他団体との連携>

今回の事業は、単独での活動をしました。また、市民の参画については、学校や公園の利用者・管理者(学校の保護者等)も市民であり、すでに多くの市民に参画いただいておりますが「遊具の安全教室」を今後も開催していくことでさらに多くの市民の参画を図ってまいります。

<市民に対するPR>

当 NPO の有する予算のみでは、事業を行う回数や質を、ともに低く押さえなくてはならず、公園等の施設や管理者からの要請に応じきれません。事業の回数を増やし、レクチャーの質を向上することによって安心してすごせる公園や遊具を確保し、危険な状態の遊具できるだけ減らすことができます。それはすなわち地域安全支援であり、地域環境の保全、子ども達へよりよい環境を提供することへと繋がることになります。

昨年度に続き、松山市市民活動推進補助金を受けこの事業を継続、発展させることができました。公共性の高い公園や学校、幼稚園、保育園などの遊具は、みんなのものであるが故に、管理者が特定されていなかったり、維持管理体制が不備な施設が多いことがわかりました。今後とも、少しずつですが継続していきますので皆さんのお近くでご希望がありましたら、ご連絡ください。できる限り対応してまいります。

当 NPO のインターネットホームページにも関連情報を掲載しております。

<活動の様子>



事業名：修学教育旅行「俳句吟行体験」

<目的>

松山は、著名な俳人を多く輩出したまちであり、毎年8月に俳句甲子園の全国大会が開催されるなど、今も昔も俳句の舞台。このような「俳都まつやま」だからこそ、

①「吟行」や「句会ライブ」などを体験していただきながら、松山人とふれあい、

楽しくかつ真剣に本場の俳句に触れ、日本文学の素晴らしさ、ことばのちからを学んでいただく。

②俳句甲子園事業を紹介し、近い将来、俳句甲子園大会に参加していただくきっかけづくり。

<事業内容>

対象者：修学教育旅行の中学生 40 人（学校法人梅村学園 三重中学校）

日 時：6 月 10 日（木）8：15～12：00

場 所：子規記念博物館 および道後温泉周辺子規記念館の施設見学

内 容：子規記念館見学及び館長講話～俳句の作り方入門～吟行～俳句甲子園の紹介～句会ライブ

<市民の参画や他団体との連携>

松山市観光産業振興課との共同事業、道後商店街組合、まつやま俳句でまちづくりの会

<市民に対するPR>

- ・松山市が推進する「修学教育旅行誘致事業」の中に、文化的な体験型メニューとして組込まれた。併せて「修学教育旅行誘致パンフレット」および「専用HP」の掲載に協力。
- ・吟行や句会など、やさしく分かりやすく体験することで、俳句文化の興隆を図った。
- ・道後商店街の店舗に季語を配置、「まつやま」ならではの風情が形成され、修学旅行生との会話のきっかけとなり、商店街関係者の俳句への意識の高揚も図れた。
- ・松山市で俳句を体験した中学生が、「高校に進学し俳句甲子園に出たい」と言ってくれた。

<活動の様子>



わたしたちLink愛媛です



夏祭りのボランティアです



ゲートボール大会です



出店ブースの方々です



ゲートボール教室開催中！



認知症サポーター養成講座の様子

<目的>

- ・私たちは、松山市周辺を中心とする地域で生活している健常者、高齢者、障がい者をイベントを通して昨今希薄になりつつある地域社会をより密着した形にすべく活動しております。

キーワードは、「感動・協働・創造人」

- ・地域において様々な人々が共に活動し、新しいものを創造でき、感動できる社会をめざしております。

<事業内容>

- ・ **高齢者と健常者の交流ゲートボール大会の開催**
毎年11月に行われております
- ・ **認知症サポーター養成講座の開催**
本年度は計年6回実施致しました。
- ・ **その他地域イベントのボランティア活動**
市内グループホームの夏祭りや道後公園のイベントに参加しております。

<市民の参画や他団体との連携>

- ・ 愛媛県立道後公園指定管理者 コンソーシアム GENKI
- ・ 愛媛県ゲートボール連合 ・ 松山大学

<市民に対するPR>

昨今、暗いニュースが多い中、子供・大人・高齢者・障がい者の方がイベントを通して交流をはかる事によって、人と人が互いに身近に感じる事が出来たり、人への思いやりを持つことが出来たり、お互いの気持ちを理解しあえると考えています。

そしてそれは、私達が街を造っているという自覚をもっていただくためのひとつの手段であると考え、その架け橋となるため私達Link愛媛は、ボランティア活動に専念しております。